

市民が思う魅力や強み・不安や弱み

※市民の声アンケート、グループインタビュー、市民意見交換会、まちづくりに関する意見募集（Web）等の主な意見

区分	歴史・伝統・観光	地理的条件・交通
魅力・強み	<ul style="list-style-type: none"> ・登録有形文化財でスイッチバックを行う二本木駅(中郷) ・親鸞聖人上陸の地「居多ヶ浜」 ・マゼランペンギン飼育数世界一のうみがたりをはじめ、謙信公武道館、上越体操場など、集客力のある施設がある(大潟) ・親鸞聖人の妻である恵信尼(板倉) ・全国のライダーが足を運ぶ風巻神社(三和) ・総延長日本一の雁木 ・上杉謙信や春日山城 ・高田城址公園、三重櫓 ・郵便の父「前島密」 ・日本ワインの父「川上善兵衛」 ・発酵学の父である「坂口謹一郎」(頸城) ・地域の象徴を「地域の宝」と認証する制度 ・古墳(清里、三和、牧など) ・合併による特色ある地域が集まった多様性 	<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路、港、新幹線が整備され、どの方面にも程よい距離でアクセスしやすい <ul style="list-style-type: none"> 上信越自動車道 北陸自動車道 小木直江津航路 北陸新幹線 ・大規模商圏である関東に近く、農産物等の販促がしやすい ・輸送網の充実により、人の移動・物流で優位性がある産業立地 ・上越妙高駅周辺のローカル5G施設

不安・弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源が有効活用できていない ・情報発信(PR)が不十分 ・歴史資源はあるが、観光地整備が不十分 ・都市圏での知名度の低さ ・上越市の魅力を外部に宣伝するとき、一言でうまく伝えられない ・観光客が地元商店街に訪れていないため、地元にお金が回っていない ・魅力や地域課題に市民が気づけていない ・スポットは点在するが、長期滞在につながっていない ・魅力は多いが、誇りや愛着の醸成につながる象徴的なものがない 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の利便性はあるが、通過点となってしまうことが多い ・高齢者の増加に伴う免許返納後の公共交通に不安 ・自家用車がないと生活しづらい
-------	--	---

区分	自然	食
魅力・強み	<ul style="list-style-type: none"> ・信越トレイル(板倉、清里、牧、安塚、大島) ・水源となるブナ林(大島、名立など) ・海と山の両方を有している ・パラグライダーなどアクティブスポーツやアウトドア(吉川) ・雪を有効活用した雪中貯蔵施設「ユキノハコ」(安塚) ・雪解け水がもたらす豊かな水による良質な農産物 ・棚田(清里など) ・四季が明確 ・四季を通じたイベント 春:観桜会 夏:観蓮会 秋:古径の紅葉 冬:レルヒ祭 など ・海水浴場 ・高田平野 ・くわどり市民の森や地球環境学校などの自然とのつながりを学習できる環境 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国初の「どぶろく特区」認定(牧) ・よしかわ杜氏の里(吉川) ・メイドイン上越に認定された特産品 ・雪むろ酒かすラーメン、さかきん鍋などの名物 ・9年連続特A評価の上越産コシヒカリ ・豊かな海と山の幸 ・酒(日本酒・ワイン) ・くびき牛、なごみ豚 ・上越野菜 ・発酵のまち上越
不安・弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・離農に伴う遊休地及び耕作放棄地の増加 ・地すべり地域であり、大雨や台風時は危険(牧・板倉) ・鳥獣に関する抜本的な対策ができず、農作物等の被害が拡大 ・海沿い地域における塩害 ・若者世代や移住検討者が懸念する積雪量の多さ ・不在地主の増加による森林の未整備 ・豊かな自然の魅力をいかしきれていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・上越市産のお米や農産物のおいしさに気づいていない(県外に転出してから気づく)

区分	暮らし	市民活動
魅力・強み	<ul style="list-style-type: none"> ・農業移住者の受け皿となる組織(柿崎など) ・比較的災害の少ない地域 ・支援の充実をはじめ、子育てをしやすい環境 ・市街地、田園地域、中山間地域など様々なエリア ・除雪体制が整っている ・若い人がまちに入ってくる(とどまる)要素となる上越教育大学や県立看護大学、自衛隊駐屯地 	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が気軽に集まれる団体の存在 ・NPOなど市民活動が盛ん ・地元企業からの地域活動への支援体制 ・地域資源を主体的に活用して行動している住民 ・地元愛がある若者 ・灯の回廊など地域主体の催しの多さ(浦川原など) ・行政からも、積極的に地域の団体の会議に参加している地域がある(中郷など) ・地域内で団体同士の連携がとれていて、市民活動が活発な区がある(中郷など)
不安・弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・限界集落の増加により、集落活動の維持、継続が困難 ・若者を中心とした区外転出が多く、結果として出生数の著しく減少(13区) ・未管理空き家の増加による景観、環境の悪化 ・公共施設の老朽化 ・児童生徒の減少 ・地元小売店の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業、商業を問わず、後継者や担い手不足 ・町内会等住民組織の活動衰退 ・各地域に担い手はいるものの、連携が不足 ・地域の担い手となりうる若い世代の発掘 ・若者を中心とした市民活動団体の少なさ ・行政と市民団体の連携はあるものの、まだまだ不十分

区分	市民の性格
魅力・強み	<ul style="list-style-type: none"> ・移住者などのよそ者に対する思いやり ・住民同士の助け合いの精神 ・人情味があり、心が温かい ・地域を支える元気な高齢者の多さ ・上越愛を持っている人の多さ ・自然を大切に思う人の多さ ・素直 ・辛抱強さ、我慢強さ ・自然が豊かで感性豊かな子供の多さ
不安・弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・地元を好きだと堂々と言える人が少ない ・控えめな県民性(PRべた) ・他人に迷惑をかけないようにする傾向があり、他人に助けを求めず、自分一人で我慢してしまうこと ・伝統を大事にするが、新しいことに挑戦しない傾向があること